

# 平成26年第2回定例会環境生活委員会会議録

平成26年6月19日  
10時00分～10時39分  
第3委員会室

## 出席者氏名

委員 長	滝 沢 健 一	副委員 長	坂 本 隆 司
委員	山 宮 留美子	委員	寺 田 寿 夫
委員	鴻 巣 義 則		

## 執行部説明者

市 長	中 山 一 生	市民生活部長	油 原 正
都市環境部長	菅 原 安 雄	市民窓口課長	植 竹 勇
市民協働課長	斉 田 典 祥	商工観光課長	大 竹 昇
農業政策課長兼 農業委員会事務局長	石 島 修	交通防犯課長	加 藤 勉
都市計画課長	木 村 豊	施設整備課長	宮 本 孝 一
下水道課長	鈴 木 康 弘	環境対策課長	岡 田 和 幸
都市計画課長補佐	湯 原 秀 一（書記）		

## 事務局

総務グループ 副主査 池 田 直 史

## 議 題

議案第8号 平成26年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第2号）の所管事項

報告第3号 専決処分の承認を求めることについて  
（平成25年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第8号））

請願第3号 「労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書」の採択に関する請願

## 滝沢委員長

それでは、ただいまより環境生活委員会を開会いたします。

本日、ご審議をいただきます案件は、今期定例会において当委員会に付託されました。

議案第8号の所管事項、報告第3号の所管事項、平成26年請願第3号の3案件です。

これらの案件につきまして、ご審議をいただくわけですが、会議が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、議案の審査に入ります。議案第8号 平成26年度龍ヶ崎市一般会計補正予算(第2号)の所管事項について執行部から説明願います。

## 油原市民生活部長

別冊の方でご説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。議案第8号 平成26年度龍ヶ崎市一般会計補正予算第2号でございます。

これにつきましては既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5550万8000円を追加しまして、歳入歳出予算の総額をそれぞれ230億490万4000円といたそうとするものでございます。

内容の方に入らせていただきますが、5ページ、6ページをお開きください。

まず歳入でございます。

国庫支出金の農林水産業費国庫補助金のところでございます。右の方に説明内容が書いてございますが、農業基盤整備促進事業567万5000円でございます。これにつきましては、農地の高度利用を図るための整備といたしまして、区画の拡大と暗渠排水を整備するものでございます。これにつきましては、国からの補助金が10分の10でございます。

続きまして、その下、県支出金でございます。農林水産業費県補助金でございますが、これの経営体育成支援事業費300万円でございます。これにつきましては、人・農地プランに位置づけられました、中心経営体、中心となって受託する人でございますが、この方が、農業経営の発展改善を目的としまして金融機関からの融資を活用し農業用機械を取得する場合、取得に要する経費から融資等の額を除いた負担額について助成されるものでございまして、経費の10分の3が限度でございます。300万円となります。

その下になります。経営体育成支援事業費被災農業者向け事業分でございます。7815万5000円になりますが、これにつきましては、平成26年2月の大雪によりましてハウス等の被害にかかる補助金でございます。再建、修繕につきましては、国が50%、県が20%、市が20%、自己負担が10%となりますが、ここでは国県の70%が計上されている状況でございます。撤去分でございますが、国50%、県25%、市25%でございます。このうち、国県分としての75%がここに計上しております。

下のほうに移ってまいりますが、諸収入でございます。団体支出金でございます。自治総合センターコミュニティ助成金500万円でございます。これにつきましては、一般財団自治総合センターが行います、宝くじ社会貢献広報事業がございまして、この中のコミュニティ助成事業によるものでございます。助成額は、100万から250万までなわけですが、今回の内容につきましては川原代ふれあい協議会の要望によります祭り用のステージ250万円それと平成25年度に設立されました中核的地域コミュニティ協議会からの要望でユニホームの整備にかかる250万円、2つ合わせて500万円の補助金が入ってきます。

続きまして7ページ、8ページをお開きください。

歳出でございます。総務費の一般管理費説明のほうで市民行政推進活動費でございます。これの需用費266万8000円でございますが、これにつきましては、歳入のほうでもお話ししました平成25年度に開設された中核的地域コミュニティ協議会、龍ヶ崎、龍ヶ崎西、駒柴、城ノ内、北文間、長山であります。ユニフォームの作成費用でございます。細かい内容としましては、パトロールのベスト650、リフレックスジャケット、ウインドブレーカーみたいなものですが700を予定しているところでございます。

続きまして、その下負担金、補助及び交付金でございますが、補助金としまして地域コミュニティ助成事業250万円がございまして、これにつきましては、川原代ふれあい協議会の祭り用ステージの購入に係るものでございます。

続きまして、9ページ、10ページをお開きいただきたいと思っております。

下のほうになります。農林水産業費で農業振興費のところでございます。説明のところ

で農業経営基盤強化促進対策事業の負担金、補助及び交付金でございます。これで補助金のところで経営体育成支援事業 300 万円でございますが、歳入でもお話ししましたように農業経営の発展改善のための農業用機械の購入の分でございます。6 条刈のコンバインを購入するもので、県からの補助金 10 分の 3、そのまま 300 万円の支出でございます。

その下、経営体育成支援事業被災農業者向け事業分でございます。これにつきましては、平成 26 年 2 月の大雪によるものでございまして、先ほどご説明しました補助金の分でございます。再建・修繕分で国が 50、県が 20、市が 20、自己負担が 10 のうち国県市の分として 90 パーセント分がここに計上されております。さらには、撤去分として国が 50、県が 25、市が 25 とこれの分が全額計上されております。

続きまして、その下になります。農地費の分で土地改良助成事業でございます。補助金としまして農業基盤整備促進事業 567 万 5000 円でございます。これにつきましては、歳入でもお話ししましたが、農地の高度利用を図るための整備として区画の拡大と暗渠排水の整備をするものでございまして、区画拡大につきましては 10 アール当たり 10 万円、440 アールでございますので 440 万円、暗渠排水の整備につきましては、10 アールあたり 15 万円、85 アールですので、127 万 5000 円。合わせまして 567 万 5000 円ということになります。

以上でございます。

滝沢委員長

執行部の説明は終わりましたが、質疑等はありませんか。

山宮委員

今のご説明の中で 8 ページの市民行政推進活動費の中で地域コミュニティ助成事業の川原代地区公民館にステージをとということで、この事業費に関しましては、何か所からか申請があって、川原代を選ばれたのでしょうか。川原代に決まった理由を教えてください。

齊田市民協働課長

この申請につきましては、川原代ふれあい協議会のほうからコミュニティ事業を利用して祭り用のステージを整備したいと申請がありまして、ほかからも申請があって選択したわけではなく、直接申請があったものです。

山宮委員

ほかのコミュニティセンターもこういうことはご存知けれども、だれも申請がなく、川原代から申請があって川原代になったのでしょうか。

齊田市民協働課長

今回の場合に当たっては、コミュニティセンターにつきましては、センター長会議とか連絡調整会議を開いていますが、その中でもお話をしましたが、今回については川原代だけからの申請がございました。

山宮委員

次の 10 ページなんですけれども。農業経営基盤のところの、ビニルハウスのところなんです、これは何軒ほど被害の農家があったのですか。

石島農業政策課長。

農家数にいたしますと 103 軒でございます。

山宮委員

103 軒の農家のお宅がこの金額で全部まかなえるのですか。

石島農業政策課長

概算要求ということでこの金額で国の方まで上がっている金額なのですが、予算的にはある程度足りる要望額だと思っております。

山宮委員

わかりました。ありがとうございました。  
以上です。

滝沢委員長

ほかにありませんか。

坂本委員

先ほどのハウスのことなんですが、被害にあわれた確認というのは農協さんとかで確認をされたと質疑でもあったんですが、こちらでは確認をされたのですか。

石島農業政策課長

いわゆる予算を要望をする段階で市と農協の職員でいっしょに地区ごとに農協の支所単位で歩きまして、相談しながら確認をしました。

坂本委員

そうするときっと時期的に2月に起きてしまった時期で先にハウスを直してしまっている状況もあると思う。これから直す所もあると思いますが、その辺の確認と支払いの方法はどんな形でやられるのでしょうか。

石島農業政策課長

すでに直している農家もかなりあります。これにつきましては、壊れたときの写真などを取ってありますので、最終的にかかった費用の領収書とか作業日誌であるとか、それをこれから確認して、正式な補助申請をあげてもらいますので、その時点で確認をします。

坂本議員

最後に時期的に支払いはいつ頃になりますか。

石島農業政策課長

この事業はですね。国のほうでは、年度内事業として処理することとなっています。ですから補助金が入ってくる時期は、まだ、はっきりしていません。7月ぐらいから、今回本議会で予算が確定しましたら、市の要綱のほうを制定しまして、それから農家一軒一軒歩いて、申請の手続きを進めていってから、国へあがっていきますので、それからの支払いになります。国の方の支払い時期については、まだ未定でありますので、年度内には完了したい。

坂本委員

はい、ありがとうございました。

額的に大きな金額を先に先行して支払いをしている方もいらっしゃると思いますので、できるだけ国の方向が決まりましたら、こちらのほうではなるべく早急な対応をお願いしたいと思います。

山宮委員

もうひとつ、8ページの先ほどの市民行政推進活動費のところなんですけれども。

地域コミュニティのユニフォーム、ウインドブレーカー等とありましたけれども、これに関しましては、全部のコミュニティセンターが統一のものを作られるのですか。それとも各コミュニティからデザインを募集してそれぞれにおまかせするのでしょうか。

齊田市民協働課長

これにつきましては、各コミュニティ協議会ごとに、トレードマークがあったり、文字が入ったりがあるので、個々にどういったものがデザイン的に良いのかを調査しまして、そのうえで入札執行という形にしていきたい。

山宮委員

各コミュニティから上がってくるデザインが全部バラバラの可能性がありますがよね。できれば、せつかく市の税金を使ってやるので、統一したマークがなんかしらあった方がいいかなと思うのですが、できればまいりゅうを使っていただくとか。

なんかこれは、市でここだけは統一されていて、あとは地域の歴史を生かしたようなデザインが許されるみたいな形にしていった方がよいかなと思うのですが。

齊田市民協働課長

基本的にはお話のありましたとおり、まいりゅうであったり、色的なものであったり、そういったものについては、ある程度統一していきたいと考えております。

滝沢委員長

ほかにありませんか。

鴻巣委員

今のそのことなんですが。学校関係の防犯など各団体をみると色がばらばらなので、色を統一したほうが良いのではと前から思っていた。

川原代だけ何かやろうとしている人を見ているわけではないから。八原に行ったり、北文間に行ったりと、いろんなところへ行ってやるわけだから。同じ色の防犯とか、地域を守る人たちが同じ色でたくさんあちこちに入ればわかるし、龍ヶ崎市はよくやっているなど見られる。よその部・課かもしれないけど、なるべく同じお金を出すのであれば、同じ色、同じ服に統一したほうがいいんじゃないか。市全体で協議をしてもらえたらと思います。

滝沢委員長

ほかにありませんか。

【なし】

滝沢委員長

別にないようですので採決いたします。

議案第8号、本案は原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

【異議なし】

滝沢委員長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり了承することに決しました。

続きまして、報告第3号 専決処分の承認を求めることについて（平成25年度龍ヶ崎市一般会計補正予算（第8号）の所管事項について）執行部から説明願います。

油原市民生活部長

ご説明させていただきます。同じく別冊の方でご説明いたします。

平成25年度 龍ヶ崎市一般会計補正予算（第8号）でございます。

これにつきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6859万7000円を追加しまして、歳入歳出予算の総額をそれぞれ247億228万7000円といたそうとするものでございます。

それでは内容に入ってまいります。3ページ、4ページをお開きください。

3ページのところですが、第2表、繰越明許費の補正がございます。下の部分ですが農林水産業費の農業費、土地改良整備事業84万円でございます。これにつきましては、経営体育成基盤整備ほ場利根北部地区にかかる分でございますが、この3期分の土地改良事業費84万円を繰越しようとするものでございます。

その下第3表地方債の補正でございます。上のところですが、県営土地改良事業でございます。限度額1190万円を840万円、350万円の減とするものでございます。内容につきまし

ては、農免農道整備板橋・伊佐津線と経営体育成基盤整備ほ場利根北部地区に係る土地改良事業の変更に伴う減額でございます。

菅原都市環境部長

続きまして、道路橋梁災害復旧事業であります。240万ですが、これにつきましては、災害復旧工事にかかる国庫補助事業の記載分であります。これを限度額230万といたそうとするものであります。

続きまして、5ページ、6ページをお開きください。

歳入でございます。5ページの中段でございます。県支出金衛生費県補助金でございます。コードナンバー0005再生可能エネルギー導入促進事業費を1860万3000円の減でございます。これにつきましては、事業の確定による入札額の変更でございます。要因としましては、太陽光パネルの価格が下がったことによると思われま。

油原市民生活部長

一番下になりますが、諸収入のところでございます。

雑入県市町村振興協会市町村交付金、990万1000円でございますが、これにつきましてはオータムジャンボ宝くじにかかる市町村交付金でございます。公益財団法人県市町村振興協会からの交付金として降りてくるものでございます。

続きまして、7ページ、8ページでございます。

農林水産業費債でございます。農業債で県営土地改良事業債350万でございますが、ご説明いたしましたように農免農道整備板橋・伊佐津線と経営体育成基盤整備ほ場利根北部地区にかかる土地改良事業の変更に伴う市債の減額でございます。

菅原都市環境部長

続きまして、災害復旧事業債でございます。これにつきましては、道路橋梁災害復旧事業債地方債補正の件で説明をいたしたところでございますが、災害復旧事業債を10万円減するものであります。

続きまして、9ページ、10ページをお開きください。歳出でございます。

一番下の段になります。コードナンバー01016650再生可能エネルギー導入促進事業でございます。工事費の減でございます。これは先ほど申しましたが、契約額確定のための減額で委託料47万2000円、工事請負費1782万8000円、合計で1830万円を減するものでございます。

続きまして11ページ、12ページをお開きください。

油原市民生活部長

農林水産業費の農地費でございます。土地改良整備事業負担金、補助及び交付金の負担金のところでございます。農免農道整備板橋・伊佐津線511万2000円の減でございます。工事の施工地に隣接する地主から要望の調整等によりまして不足の日数が生じまして、一部の工事に着手できなかったための減額でございます。

その下、経営体育成基盤整備ほ場利根北部地区でございます。127万6000円でございますが、これにつきましては、関東農政局から基盤整備による農業振興を早急に図るよう指示がありまして、翌年度施工の前倒しして復興したため予算が増加した。

菅原都市環境部長

続きまして、一番下の欄でございます。11ページでございます。

災害復旧費でございます。道路橋梁災害復旧費でございます。国庫負担金対象額が請負差金を考慮し再計算をしたため、市債で10万円を減し、一般財源で10万円の増をいたしまして、財源の調整をしたものでございます。以上でございます。

滝沢委員長

ありがとうございます。

執行部からの説明は終わりましたが質疑等はありませんか。

坂本委員

太陽光なんですけど、結構減額が大きかったんですけど、これの総額は、請負費はいくらに対して1700万円の減になったのか。

岡田環境対策課長

請負額につきましては、本庁舎が537万5000円の減です。

それと馴染コミセンが767万4000円の減、アリーナが246万7000円の減です。合わせて1551万6000円の減になります。

坂本委員

それではなくて。

発注額はいくらだったのですか。

岡田環境対策課長

発注額はですね。当初予算で9200万を見込んでいたんですけども。

この1830万減になったものでありまして、合計で7369万9500円であります。

坂本委員

はい、ありがとうございました。

あくまで太陽光が今値段が下がってきているということだとは思いますが、特に問題は無いのかなというふうに思います。稼働面に何か問題はありましたか。

岡田環境対策課長

稼働していて問題はないんですけども。

ただ、その対象外と対象内の工事がありまして、実際にLEDは、対象外となったために減額になりました太陽光パネル蓄電池これに付帯する配線設備等は対象内です。

稼働は問題ございません。

坂本委員

はい、ありがとうございました。

滝沢委員長

ほかにありませんか。

【なし】

滝沢委員長

別にないようですので採決いたします。報告第3号、本案は原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

【異議なし】

滝沢委員長

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり承認することに決しました。

続きまして、請願の審査に入ります。

平成26年請願第3号労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書の採択に関する請願についてです。

事務局に請願を朗読させます。

池田副主査

請願名 労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書の採択に関する請願

受理番号 平成26年請願第3号 受理年月日 平成26年5月19日 請願者の住所氏名 牛

久市中央2の27の2 日本労働組合総連合会茨城県連合会県南地域協議会 議長木村太一  
紹介議員 糸賀淳

請願趣旨 わが国は、働く者のうち約9割が雇用関係の下で働く雇用社会です。

この雇用社会日本の主人公である雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことのできる環境を整備することが、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会のそれにもかかわらず、いま、政府内に設置された一部の会議体では、成長戦略の名の下に、解雇の金銭解決制度や一定の要件を満たす労働者の労働時間等規制を適用除外にする制度ホワイトカラー・イグゼンプションの導入、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある限定正社員の普及労働者保護の後退を招くおそれのある労働者派遣法の見直しなどといった、労働者を保護するルールの後退が懸念される議論がなされています。

働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことは決して許されることではなく、むしろ政府が掲げる経済の好循環とは全く逆の動きであると言えます。

また、政府内の一部の会議体の議論は、労働者保護ルールそのものに留まらず、労働政策に係る労働政策に係る基本方針の策定のあり方にも及んでおり、労使の利害調整の枠を超えた総理主導の仕組みを創設することも提言されています。

国連の専門機関のひとつである国際労働機関ILOは、雇用・労働政策は、三者構成原則公・労・使に基づき労働政策審議会において議論すべきであるとしており、政府が提言している仕組みは、国際標準から逸脱したものと言わざるを得ません。

こうした現状に鑑み、貴議会において、下記の内容を柱とする労働者保護ルールの現行制度の維持・改善を求める意見書を採択の上、国会及び関係行政庁に提出くださるよう、請願する。

請願事項 1 不当な解雇として裁判で勝訴しても企業が金銭さえ払えば、職場復帰の道が閉ざされてしまう解雇の金銭解決制度、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある限定正社員制度の普及、長時間労働を誘発するおそれのあるホワイトカラー・イグゼンプションの導入などは、行うべきではないこと。

低賃金や低処遇のままの派遣労働の拡大につながりかねない法改正ではなく、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うべきこと。

雇用・労働政策に係る議論はILO三者構成主義に則って、労働者代表委員、使用者代表委員、公益委員で構成される労働政策審議会で行われるべきであること。

滝沢委員長

それでは、各委員からご意見等がありましたらお願いします。

山宮委員

すべてが否定的なことではなくて、この中に様々な用件が書かれてありますけれども、この1の限定正社員制度の普及、長時間労働を誘発するおそれのあるホワイトカラー・イグゼンプションの導入などは行うべきではないこととここで否定していることがですね、すべてを否定することにつながりかねないので、これに対しては受け入れられないと思います。

特に限定正社員というのは、ここでとられている趣旨とちょっと私は違うように感じるんですけどもその限定正社員というのは、女性が社会で働きやすくなるようなために、限定正社員も作られますし、正社員と非正規雇用の方との差をなくすために、限定正社員制度を今後作ってこうという取り組みで、政府の方は戦略を作り上げているわけで、これに関しては限定正社員制度については、多様な働きかたを広げることができる制度として、私は捉えていますので、今回の請願に関してまして、否決したいと思っています。

鴻巣委員

やっぱりこれすべて、やっちゃだめですよという言い方があれなんで、ましてや国がやっているわけで1000万円から残業代を払わないなどやっていますけれども、現実的に言ったら1000万円以上の人がどれだけいるのかわからないけど、いまでももらっていないのでは。

解雇の金銭解決制度もそうだけお金をもらえなくなったしょうがないし、これはすべて行うべきではないということは全部否定するからね。

だからそうじゃなくてやるべきこととやらなくてもいいことがあるので。請願として受

けてこれをそのまま採択というわけにはいけないような気がします。  
不採択したいと思います。

滝沢委員長

ほかにありませんか。

【なし】

滝沢委員長

それではお諮りいたします。

平成26年請願第3号労働者保護ルールの現行制度の維持改善を求める意見書の採択に関する請願につきましては、採択とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

【挙手なし】

滝沢委員長

賛成者はありませんので、平成26年請願第3号は不採択とすることに決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査は終わりました。

これをもちまして環境生活委員会を閉会いたします。